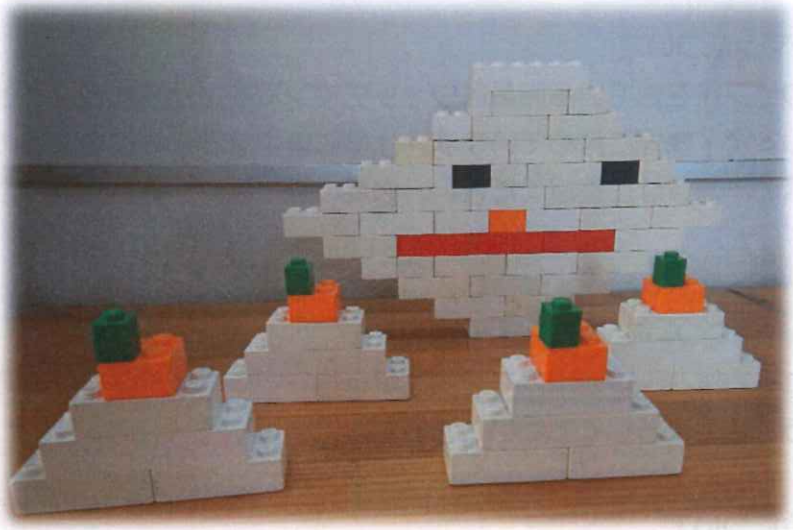
はっとこどもえん えんだより 2023ねん

7期：1月9日～2月19日



作品：4歳児 （ゆきだるまとかがみもち）

社会福祉法人　種の会

幼保連携型　認定こども園 はっとこども園

〒657－0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3－14

TEL：078－805－3810

FAX：078－805－3820

携帯：080－3033－1952

Mail：hat@tanenokai.jpURL：http://www.tanenokai.jp/

種の会　法人本部Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp

★ 体調管理について

インフルエンザにかかった場合、感染力が強く、流行のスピードも速いため、学校伝染病に指定されています。治癒後は、登園する日に必要事項を記入した「登園届（インフルエンザ用）」を園に提出して下さい。

その他、園での体調変化があり、ご連絡した場合は早めの対応・処置をお願いします。日頃から、しっかり食事を摂り、うがいや手洗いを行ない、十分な睡眠をとるように心掛けて体調管理に気をつけましょう。

★ ウォッチマンについて

園庭で黄色のビブスを着ている職員はウォッチマンです。仕事内容は子ども達全体の様子を把握し安全・管理に努めています。仕事に集中するためにも黄色のビブスを着ている職員への声かけはご遠慮ください。必要の際には、他職員へ声かけをお願いします。

★ 駐車場の利用について

車で送迎される方は、１０分以内を目安に駐車場を空け、交代で多くの方にご利用いただけるようご協力よろしくお願いします。

★生活発表会について

２月１８日（土）に３、４、５歳児は生活発表会を行ないます。

０、１、２歳児は家庭保育のご協力をお願い致します。詳細は後日、チャイルドケアウェブでお知らせします。

★職員の産休について（２月１日より藤原裕理が産休に入ります）

これまで体調を気にしていただいたり、お気遣いいただいたりと、温かく見守っていただき、ありがとうございました。またパワーアップして戻ってきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。　　藤原裕理

☆適切な保育を継続☆

園長　片山（かたやま）

あけましておめでとうございます。新型コロナ感染症対策と向き合ってもうすぐ３年になろうとしています。これまでマスク着用や密を避けようとしすぎることで、多くの機会や習得が失われたこともあったのではないかと思います。私達は子ども達や保護者の皆様にとって面白いことが待っている園、期待をもって登園したいと思えるような園にしたいと願っています。そのために保護者の皆様には、何かとご協力を頂くことがあるかと思いますが、職員一丸となり子ども１ｓｔの理念に向かって園文化を創りあげていきたいと考えておりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年末「ふさわしくない保育」「不適切な保育」というニュースを目にすることが増えました。保護者の皆様、本当に、ご心配された（いる）ことと思います。

園に関わる者として、なぜそのような状況になったのか、どうして誰も止められなかったのか、子どもが味わった恐怖心はいかばかりか、多くの職員が心を痛めています。

早速、職員全体で会議を行ない、今回の件、そして「子どもの人権」について、自分がもしそのような現場に出会った時にはどうすべきなのか、このような保育に陥らないためにはどうすべきか、保育者としてとるべき行動を検討する機会を設けました。

私達は、不適切な保育が起こらないためにも、普段から「みんなでみんなをみていく」方針で、クラスの枠を超えて、職員が互いにインカムで他クラスの状況も把握し、互いを気にかけ、常に困っている場には応援へ行けるようにしています。一時保育の受け入れも積極的に行ない、地域の方々の出入りもたくさんあります。また見守りカメラを利用し適切な保育が継続されるよう、定期的に検証しています。他にも外部の方を招いて保育を観察頂き、より良い保育を構築するため公開保育や、園内・姉妹園間・園外で研修を行なったりと、様々な取り組みをしております。

この度１つの検証ツールとして「人権擁護のためのセルフチェックリスト」という資料を用いて、全職員１人ひとりが自身の日頃の保育を振り返りました。それらの結果を集計し、今後の保育に役立てていくつもりです。

令和の時代となり、神戸市内においても保育施設数が増えたこともあり、待機児童問題はほぼ解消されてきました。またコロナ禍の影響もあって超少子化が加速している状況にあって、保育現場に求められることが年々増えすぎているように感じます。コロナ対応、多様化する地域子育てニーズへの対応、教育要領や保育指針（ガイドライン）は改定されるたび、１人ひとりを大切にきめ細やかに保育するよう指導してきます。

ところが、大切な子どもを見守り、子どもが育つために重要な人的環境・職員の配置基準は私が生まれる前の昭和の時代から変更されていません。理想と現実のギャップを埋めるため、不適切な保育を改善させるため、現場保育者の疲弊度を解消するために、「職員の配置基準」（１歳児なら６人の子どもに対して保育者１人という基準等）の問題を改め直すこと、今こそ新たな施策を施行すべき時ではないかと強く想っております。

皆さんは、どのように感じられ、どのようにお考えになるでしょうか。

子どもも大人も楽しむ表現遊び

主幹保育教諭　橋本（はしもと）

明けましておめでとうございます。2023 年がはじまりました。大人も子どもも新たな一年に向かって心が動く色々な経験をし、益々成長できることを願っています。

子ども達は毎日の遊びを通して様々な経験をしています。その経験やそこで気持ちを表すために何らかの表現をします。それを遊びとしたものが表現遊び(活動)です。それぞれの年齢に分けて楽しみ方やそのポイントをご紹介します。

◎1 歳児は、できることが一つ一つ増えていく時期です。日常生活を楽しみ、その中で体を動かすことや、歌を歌うこと、色々な音楽に親しみまねっ子などの表現遊びを楽しんでいます。

（ポイント）

・保育者と一緒に歌ったり体を動かすことを楽しむ。
・絵本に親しみを持ち、たくさんの絵本に親しむ。
・身近なことに興味や関心を持ち、自分でやってみようとする意欲を高める。

◎2 歳児は、言葉も増え、お話も活発になってきている時期です。知っていることや見たり聞いたりしたことをイメージしながらなりきってごっこ遊びも毎日のように楽しんでいます。歌を歌ったり簡単な楽器に親しんでいます。

（ポイント）

・色々なことに興味や関心を持ち、表現遊びを楽しむ。
・簡単なお話の流れをイメージしてなりきって遊ぶ。
・身近な友達と一緒に歌ったり表現したりすることを楽しむ。

◎3 歳児は、友達や身近な大人との言葉のやり取りを楽しむ時期です。関わりが増え、言葉で伝えられることが多くなってきます。3 歳児にとって劇は遊びの延長で、普段の遊びを盛り込み楽しく表現ができるようにしていきます。

（ポイント）

・物語の世界に親しみを持ち、役になりきって楽しむ。
・楽しい気持ちを友達や保育者と共有する。
・一人ひとりが伸び伸びと表現をする。

◎4 歳児は、友達や保育者とのふれあいを通して園生活に親しみ安定していく時期と同時に、生涯にわたって人と関わる力を身に付けていくという意味でも大切な時期です。友達や周りの大人との関わりを深め広げていく上でも大切なものとして「言葉」「相手の思いに気付く」などがあります。それを日常の生活の中で、そして絵本を通して、表現遊びや劇遊びで役を演じることで気付き身に付けていきます。

（ポイント）

・物語に親しみ、役になりきって表現することや言葉のやり取りを楽しむ。
・物語や歌の歌詞をイメージして親しみをもつ。
・友達と一緒に表現したり、観てもらうことの楽しさを味わう。

◎5歳児は、はっとこども園での生活の、最後の集大成。しかし、それは完結するのではなく小学校へ繋がる接続の時期です。自分達で考え取り組んできたこと、友達と思いがぶつかり合い思い通りにできず悩んだこと、一緒に力を合わせてできた数々の嬉しかったことなど、普段の自分達の生活そのものを劇や楽器遊び・歌などの色々な表現活動に置き換えて取り組んでいます。

（ポイント）

・友達と共通の目的を持って思いを出し合い受け入れながら取り組ことを楽しむ。
・自分のイメージをもって、ダンスや歌・楽器遊びを思いきり楽しむ。
・友達と一緒に一つのことに取り組んだ達成感を味わう。

＊幼児クラスでは、このような子ども達の姿を知っていただき、発表会を楽しんでいただけたら嬉しいです。

○さい おひさまぐみ

岡野（おかの） 能宗（のうそう）
藤村（ふじむら） 多々良（たたら）

０歳児　７期（１月９日～２月１９日）
冬を味わう期２

【ねらい】　戸外で冬の寒さを感じ、身体を動かすことを楽しむ
　　米粉や絵の具などの感触遊びを楽しむ
【うた】　♪ゆきのこぼうず　♪コンコンクシャン　♪豆まき　など
【わらべうた】　♪だるまさん　♪もぐらどん　♪いっちくたっちく　など
【領域活動】　戸外遊び・クレパス遊び（なぐり描き）・米粉遊び
　　絵の具（タンポ・指）・楽器遊び
【食育】　みかん（１月）　ブロッコリー（２月）
【異年齢活動】　クローバーデイ

かきかき！ぺたぺた！

夏頃に初めてクレパスでお絵描きをした時は、保育者が手を添えて一緒に線を描いたり、中には触ることを嫌がったりする子もいました。しかし今では、ケースに入ったクレパスを自分で手に取りトントントンと細かな線をつけたり、腕を大きく動かし長い線を描いたりと思い思いに楽しむ姿があります。

シール遊びでは、台紙を半分に折りシールを剥がしやすくすることで、子ども達は指先を使ってシールを剥がしたり貼ったりすることを楽しんでいます。シール貼りを通して、指先にくっつく感触を味わったり、目と手の協応を促したりしています。子ども達は出来上がった作品を見て、指を差したりお話をしたりと、嬉しそうな表情を見せてくれます。

音に合わせて♪

１歳児の子ども達は毎夕、ピアノに音に合わせて動物や乗り物を体で表現するリトミックを行なっています。隣の部屋からいつもその姿を見ている子ども達は、歩行が確立したこともあって音が聞こえてくると自然と体が動いています。１歳児の動きを見て真似て、「うさぎ」や「かえる」など表現あそびを一緒に楽しんでいます。

また「親子でメリーゴーランド」「じょうぶないす」といったふれあい遊びでは、お友達の元へ“手をつなごう”と誘いに行き、輪になりメリーゴーランドを作ることができたり、膝の上に座りとんとんと肩をたたいたりと、子ども同士の関わりも多く見られるようになり成長を感じています。

1さい
おひさまぐみ

岡野（おかの）　能宗（のうそう）
藤村（ふじむら）　多々良（たたら）

１歳児　７期（１月９日～２月１９日）
冬を味わう期２

【ねらい】　冬の寒さを感じ、戸外で身体を動かすことを楽しむ
　　指先を使った色々な遊びを楽しむ
【うた】　♪雪　♪ゆきのこぼうず　♪いとまきのうた
　　♪コンコンクシャン　など
【わらべうた】♪おしくらまんじゅう　♪だるまさん　♪いっちくたっちく　など
【領域活動】　シール貼り・粘土（小麦粉・米粉）・楽器・クレパス
　　紙遊び（花紙トイレットペーパー）
【食育】　みかん（１月）　ブロッコリー（２月）
【異年齢活動】クローバーデイ

クリスマスの製作をしたよ！

１２月に入り絵本棚にクリスマスの絵本があると嬉しそうに「見たい」と持って来ていた子ども達。そんな子ども達と一緒にクリスマスの製作をしました。三角の形の画用紙にクレヨンでお絵描きをしたり、シールを貼ったりしました。お絵描きでは肘を使い大きく描いたり「花火」と言って点を描いたりしていました。何度もクレヨンで遊んでいたこともあり、いろいろな色を使って遊んでいました。

シール貼りでは、小さいシールを自分でめくり貼ることができるようになっています。重ねて沢山貼ったり、直線に並べて貼ったりと子ども達の個性が見られ素敵なツリーが出来上がりました。

お散歩楽しいね

週に１回お散歩に出かけています。以前は数人の子ども達が保育者と手を繋ぎ歩いていましたが、今ではほとんどの子がバギーに乗らずに友達や保育者と手を繋いで歩く事ができるようになってきました。

ミニ園庭に出て準備ができると、友達と手を繋いで待ってくれていたり、保育者が「♪手をつなごう～」と歌い始めると手を繋いだりしています。またお散歩中も保育者の後ろに列になって歩く事も上手になってきました。歩いている時にハトなどが近くにいると、みんなで「ハトさーん」と呼んだり車を見たりして、友達と一緒にお話しながら歩く事を楽しんでいます。

2さい なぎさくみ

梶原・山本・前田

7期（1月9日～2月19日）

【テーマ】　戸外遊びを通して、冬の寒さを感じる
友達となりきり遊びを楽しむ
【主な活動】　楽器・はさみ・のり・色鉛筆
【うた】　♪ゆき　♪コンコンクシャンのうた
♪豆まき　♪雪のこぼうず
【わらべうた】　もちっこやいて・おしくらまんじゅう・かごめかごめ
【集団遊び】　かごめかごめ・あーぶくたった・しっぽとり・表現遊び（なりきり遊び）
かくれんぼ・手つなぎおに
【戸外活動】　園庭遊び・散歩（HAT 内・近隣の公園）※気温によって考慮します
【栽培】　かぶの収穫
【食育】　柑橘類の果物（１月）※変更する可能性があります

クリスマスリースをつくったよ♪

リース作りをする前に、お集まりや活動前にクリスマスの話を子ども達としました。“クリスマスって何かな？”という話から、「サンタさんがプレゼントをもってきてくれる！」「クリスマスツリー！」などと子ども達からたくさん話がでました。
そこからリースの話も始め、“今からみんなでリースを作ってみよう”と伝えると、「はやくしたい！」という声がたくさん上がり、リース作りがスタートしました。
星やハート、三角、四角といった様々な形をした色画用紙にのりをつけ、リースの土台に貼り付けていきました。ハートはこの場所、星はこの場所と、場所にこだわりを持って貼る子や、のりを指につける量に気をつけている子の姿が見られ、それぞれ集中して取り組んでいました。
完成したリースを部屋の中に飾ると「見て、ここに作ったのがある」「〇〇ちゃんのここにあるよ」と、子ども同士とても嬉しそうに話をする姿が見られました。

3さい にじぐみ

和泉（いずみ）　髙橋（たかはし）

7期（1月9日～2月19日）

【テーマ】	節分・発表会
【絵画・造形】	発表会の大道具作り
【うた】	♪ゆき　♪コンコンクシャン
	♪まめまき　♪おにのパンツ
	♪ゆげのあさ　♪雪のこぼうず
【劇遊び】	表現遊び（もりのおふろ・へぇーすごいんだね）
【楽器】	リズム打ち（カスタネット・タンブリン・鈴）・合奏
【農育】	冬野菜の水やり・雑草抜き
【園外保育】	近隣の公園

クリスマスのはじき絵

くつ下の形の画用紙にクレヨンで好きな模様や絵を描いてから、その上から絵の具で色を塗りました。キャンディーや好きなキャラクターを描いて「サンタさんこれ描いたら喜ぶかな？」と友達と話をしながら描いていました。絵の具では好きな色を選んで筆を使って色を塗りました。クレヨンの上から絵の具を塗ると「クレヨン消えない」や「色が変わった」などはじき絵の不思議さを感じていました。

クリスマスクッキング

ホットケーキ作りをしました。ホットケーキミックスと牛乳を混ぜて生地を作り、グループのお友達と順番に交代しながら「押さえているから混ぜていいよ」や「次は〇〇ね」など声をかけながら協力して作ることができました。生地をホットプレートに入れるのも、ケーキを裏返すのも子ども達が自分で行ないました。焼いているホットケーキを見て「美味しい匂いがするね」など食べるのを楽しみにする姿がありました。できたホットケーキにクリームやフルーツ・チョコをかけてデコレーションし、みんなで「メリークリスマス」と言って美味しく食べました。

そら　4さい　そらぐみ

竹中（たけなか）

7期（1月9日～2月19日）

【テーマ】	発表会・節分
【うた】	♪ゆき　♪ゆきのペンキやさん　♪豆まき ♪おにのパンツ　♪おひさまになりたい　♪劇中歌
【絵画・造形】	小道具・背景作り
【食育】	まめまめパーティー（大豆の加工食品について）
【クッキング】	きびだんご作り
【農育】	チューリップ・冬野菜の水やり、追肥、雑草抜き
【楽器遊び】	合奏・ピアニカ
【劇遊び】	ももたろう　ダンスオブハーツ
【冬の遊び】	福笑い、鬼ごっこ

オーナメントをつくったよ

散歩で拾った枝と毛糸を使ってクリスマスのオーナメント作りをしました。枝と枝をテープで繋ぎ合わせて形を作り、毛糸を巻き付けました。枝と枝をくっつける時に難しそうにしている友達に「手伝ってあげようか？」と声をかけて、枝を押さえてテープを付けられるように助け合う姿が見られました。毛糸を巻き付ける時には、好きな色の毛糸をたくさん巻き付ける子や巻き方や色合いを考えている子など、温かみのある様々なオーナメントが完成しました。

もってあげる

すごいね！

げんきいっぱいのこどもたち

少しずつ寒さが増してきましたが、そら組の子ども達は寒さに負けず「今日も外で遊びたい！」と、元気いっぱいの姿が見られます。散歩では、友達と遊具を使いながら鬼ごっこをしたり、木々やどんぐりなどの自然物探しをしたりと楽しみました。園庭や屋上では、みんなでたまご鬼やしっぽ取り、かくれんぼなどを楽しんだり、ルールを作って三輪車で競争してみたり、フラフープでケンケンパーの道を作って、じゃんけんゲームをしたりと遊びの幅がどんどん広がってきていると感じます。これからもみんなで楽しく過ごしながら、そら組での思い出をたくさん作ることができればと思います。

5さい かもめぐみ

中谷（なかたに）

7期（1月9日～2月19日）

【テーマ】　冬～冬を見つけよう～　表現遊び～役になりきって楽しもう～
【絵画・造形】　発表会の背景・小道具作り　かるた作り
【うた】　♪発表会のうた　♪ゆげのあさ　♪ゆき　♪キラリキラリ　♪豆まき
【ピアニカ・楽器】ピアニカメドレー　合奏「ドレミのうた」
【外部講習】　プログラミング　ダンスオブハーツ
【食育・農育】　冬野菜の水やり・成長観察
【運動遊び】　マラソン　【異年齢活動】　乳児交流

クリスマスツリー製作

まつぼっくりを使ってクリスマスツリーを作りました。まずは赤、青、黄、白の４色の絵の具を混ぜて好きな色を作り、色を塗っていきます。家のツリーを思い出して同じ色にしようと色作りをしていたり、自分の好きな色のツリーにしたり、白を雪に見立ててちょんちょんと色をつけていたりと様々でした。飾りはモールや綿、小さな丸やキラキラの星などをボンドでつけました。はじめは小さな飾りをつけるのが難しそうでしたが、友達同士でボンドの使い方を教え合い、工夫して上手に飾りつけをしていました。土台はペットボトルキャップを好きな折り紙で巻いて作りました。リボンを巻きつけたり、まつぼっくりを反対向きにして土台に乗せたりと試行錯誤しながらそれぞれの素敵なツリーが出来上がりました。

乳児交流

なぎさ組と交流しました。中学生との交流を経て「今度はかもめ組がお兄さん・お姉さんになってなぎさ組との遊びを考えよう！」ということで、グループに分かれて何をしたいか考えました。「なぎさ組さんこれできるかな？」「ちょっと難しいかも…」と真剣に考えながら話し合う姿がありました。交流の第一回目はわくわくグループが考えた「クリスマスの衣装作り」をしました。なぎさ組のためにシールを取りにいったり、ポリ袋を切って服にしたりと常に気にかけてくれ、素敵な衣装が出来上がりました。また、その衣装を着てクリスマス会を楽しみました。

フリーのせいせい

平栗（ひらぐり）

かもめ組では有志で募った委員会活動があります。「自分に任せられる喜びを感じて自信に繋げる」「責任をもって自分の役割を果たす」など、様々なことをねらいとして取り組んでおり、とても意欲的に取り組んでいます。今回はそんなかもめ組の委員会活動について紹介します。

○絵本委員

毎月メンバーを募り活動しています。子ども達と一緒に月（８月といえば…）から連想していきウェブを広げていきます。子ども達は自分の見たこと聞いたことのある知識を存分に発揮し、教えてくれます。沢山の意見が出たら、今度はそのウェブを見ながら関連する絵本を探していきます。（８月→夏→スイカ→スイカが載っている絵本）子ども達は絵本の細かいところまでよく見ており、「ここにこの絵があるから！」「この場面が可愛い、面白い！」とその本を選んだ理由を教えてくれます。自分の選んだおすすめ絵本を読んでいる友達の姿に、「私のおすすめ絵本」と嬉しそうな表情を浮かべています。

○ラキュー委員

かもめ組の子ども達はラキュー遊びに夢中です。遊んでいく中で「沢山の作品をみんなが作るとラキューがなくなってしまう」「やりたい子が多いけど何人ずつ出来るようにしたらいいかな」とラキューで遊ぶうえで出てくる問題点について、ラキュー委員会で話し合い、どうしていくのか決めてかもめ組のみんなに伝えます。「次にやりたい友達がいたら 20 分ごとに代わる」「１週間は作った作品を取っておけるようにする」などとルールを考えて発信しています。

○サーキット委員

普段、体育講師の難波先生がサーキットのコースを考え、進めている体育遊びですが、子ども達が難波先生に代わってオリジナルのサーキットを考えます。子ども達は自身の経験したものや見たことのあるコースだけでなく、「こんなコースがあったら面白いかも！」とアイデアを出し合い、実際にサーキットを組み何度も話し合いを重ねます。本番は先生さながらにサーキット委員会が最初の挨拶から、体操、組み換え、そして最後の挨拶まで行ないます。終わった後は「頑張ってよかった」「コースを考えるのが楽しかった」と達成感でいっぱいの子ども達の姿がありました。次は発表会後に予定しています。

台所の先生から

岩渕・近藤

【２月３日は節分】

２月４日の立春の前日にあたり、冬と春の境目であるため、季節の変わり目に鬼＝邪気が入りやすいとされたため、新しい年に向けて家中の鬼を払い、福を呼び込むために行なわれる「豆まき」や、その年の恵方を向いて、願い事を心の中で唱えながら食べる恵方巻、関西を中心とした西日本で行われている風習である「柊鰯（イワシの頭をヒイラギに刺して玄関に掲げる）」が古くからの風習として残っています。なぜ鰯と柊なのかというと、鰯を焼くときに出る煙と強い臭いで邪気を追い払い、尖った柊で鬼の眼を刺すという魔除け・厄払いの意味があるといわれています。また鰯を食べて体の中の邪気を追い払うという理由もあるようです。大豆や鰯、恵方巻は栄養分が豊富なので、無病息災を祈願する意味合いも込められていたと言われています。

今年の給食ではお昼に鰯・おやつに恵方巻を提供し、無病息災をお願いしながら、みんなで頂きたいと思います。

【手作り味噌 完成しました♪】

かもめ組で８月に仕込んだお味噌は暑い夏を越えて発酵し、とうとう完成しました。完成したお味噌はどうなったかな？と混ぜながらかもめ組のみんなで様子を見てみました。混ぜていると部屋中に味噌の匂いが広がり「しょうゆみたいなにおいがする」「おいしそう！」と興味津々で一生懸命混ぜており、その後少しずつ味見をしてみると、とても美味しかったようでスプーンにあるほんの少量のお味噌を大切に少しずつ食べていました。

このお味噌は園庭で育てている冬野菜のクッキングで使ったり、給食のお味噌汁に使ったりして、はっとこども園のみんなで味わいたいと思います。

ほけんだより７期

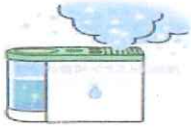
看護師　楢木（ならき）

年末、年始のお休みはいかがお過ごしでしたか。寝不足が続いたり、生活のリズムも乱れがちになっていたりしませんか？コロナウイルスの感染症も急増する中、生活習慣を見直し、気持ちも新たにこの１年を元気に過ごしましょう。今年もよろしくお願い致します。

＜寒い時期の病気やけがに注意＞

ポケットに手を入れて歩くと
転倒時、手がつけなくて危険です

部屋の換気で
空気の入れ替えをしましょう



部屋が乾燥しないよう
加湿器を付けましょう

手洗いやうがいで、手やのどについているウイルスを落としましょう

早寝早起きをしよう

風邪やウイルスに注意：寒い時期になぜ鼻水が出るのでしょう

（ウイルスが体内に入ってくると、鼻の粘膜が腫れます。
透明な鼻水は「風邪の引き始め」と言われ、黄色や黄緑色の鼻水が出るとウイルスや菌が体内に侵入した可能性もある）

＊「風邪かな」と思ったら早めの対応を

免疫力を上げる
- 身体を温める（温かいものを食べ、お風呂に入る）
- 栄養を摂り、十分寝る。
- 水分を補給して鼻水を出しやすくする。

＜やけどの処置＞

熱いお茶やスープなど子どもにとって危険なものがいっぱいあります。

火傷してしまったら落ち着いて対処しましょう。

火傷には１度、２度、３度と程度があります。

１度→赤くなり、ひりひりします。

２度→水泡ができ、痛みも強いです。

３度→感覚がない。皮膚が黒く焦げたり白く変色します。

〈手足の火傷〉
- 水道水で 30 分くらい冷やし、痛みや熱さが感じられなくなったら病院へ

〈胸やお腹の火傷〉
- ホースで水をかけるか、水風呂につけて冷やす（服が皮膚に張り付いている時は脱がさずにそのまま冷やす）
- 火傷の部分にガーゼを当てて病院へ

ウエルネス体育遊び

体育講師：難波（なんば）

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

６期は、握る動作（ぶら下がり）をたくさん実施してきました。最初はロープのぶら下がりでの力の入れ方がわからず、ぶら下がれない場面もありましたが、回数を重ねていくうちに段々と力の入れ方、身体の使い方もわかってきていました。５歳児クラスでのサーキット委員会による、子ども達で考えて作るサーキットでもロープのぶら下がりを導入し、楽しんで取り組んでいました。７期でもたくさんの動作を行なっていきます。

【取り組みとねらい】

サーキット運動

○3 歳児クラス

Ｕ型サーキット

・複合動作（・・しながら・・する）を経験する。
・これまで行なってきた基本動作（渡る・登る・ぶら下がる・走る・跳ぶなど）を確かなものにする。

○4 歳児クラス

Ｕ型サーキット

・複合動作②（・・しながら・・して・・する、というように、１つの動作に３つ以上の動きを同時に行なう）を経験していく。
・勢いをつけるところ、勢いを抑えるところなど、動作によって区別し、こなすことができるようにしていく。

○5 歳児クラス

Ｕ型サーキット

・複合動作③（上肢は・・しながら、下肢は・・しながら・・するというように、１つの動作に上肢と下肢を同時に行なう）を確かなものにする。
・連続性、スピード、リズム、きめ細かさなどの要素によって動きをまとめる力を身につけていく。

ポイント指導

・３歳児クラス
　・マット「前回り」⇒支持をしながら回転力を生み、まっすぐ回る。
　・跳び箱「台上から両足踏切開脚乗り」⇒踏切りから両足ジャンプで開脚して乗る。
　・鉄棒「つばめ～前回り下り」⇒鉄棒で腕支持から手を離さず前に回って降りる。

・４歳児クラス
　・マット「坂付き後転」⇒着手を手の平で行ない、マットを押して回る。
　・跳び箱「開脚跳び」⇒両足で踏み切りの強さを意識して跳び越す。
　・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒肘を曲げたまま壁をけり身体を丸めて回る。

・５歳児クラス
　・マット「側転」⇒足を高く振り上げてマットを見たまま回る。
　・跳び箱「開脚跳び」⇒踏み切りから着地までの安定感を出していく。
　・鉄棒「逆上がり」⇒顎を引いたまま強い蹴り上げで回る。

保護者の皆さまへ

こども園へご意見やご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。

また、卒園後も変わらずお待ちしております。お子様はもちろん、保護者の方もお顔を見せて頂き、お話が出来れば嬉しく思います。

担当：橋本